ふれあいの広場

松平郷

鶴舞支部広報担当
山本　篤

秋の晴れた日に、何処かバイクで出かけたいと考えていました。近郊でと思い、前から興味のあった松平東照宮を訪ねました。

御朱印集めを趣味にされている患者様が松平東照宮を訪れた際、強い霊感を感じたそうです。その患者様は霊感が強く両手首に厄除け数珠を幾つか着けています。患者様によると、松平東照宮の井戸の周りはとても良い気が一杯溢れているとの事でした。例えば京都は応仁の乱等、戦が絶えず人が沢山死んでいるので邪気が多いそうです。私も興味があり、このコロナウイルス禍、御利益、パワーをいただこうと出かけた次第です（イージーな発想ですみません）。

松平東照宮を目指してゴー！ところがナビの調子が悪く突然画面が消えたりして、また自宅に舞い戻り接点復活剤を噴霧したりして40分遅れて出発、国道153号線を豊田市に向かいました。東郷町に新しい大型ショッピングモールが開店し道が混んでいないか心配でしたが、意外と渋滞もなくスムーズに行けました。

国道153号線は豊田市に入り矢作川の手前で北へ向かいますが、そのまま真直ぐ進むと国道301号線になり松平橋を渡ったところで右折し目的地が近づいて来たので、ここでバイクを止め地図とナビを確認し、Bluetoothのスイッチを入れ直したら音声ガイドがプッツリ。それ以来、壊れてしまったようで音声ガイドが駄目になりました。それからナビがあっても道に迷い、数少ない通行人の方々に教えてもらい、やっとの事で到着しました。途中国道301号線から外れ東照宮の裏道へ迷い込み、そこは山の中の「ポツリと一軒家」みたいな細い道で、おまけに先日台風が通過して沢山雨が降り、山の斜面から雨水が流れていて崩れそうで怖かったですが、なんとか通り抜けると東照宮の幟が見えて、ほっとしました。第一駐車場にバイクを止めて案内板を見てから散策を開始しました。

駐車場から少し歩くと右手に井戸を発見しました。「これがそうなんだ！」と思いきや、違う井戸でした。『笠掛けの「かえで」と見初めの井戸』という、若い男女の縁結びの井戸だそうです。左手を見ると石垣と水堀があり鯉が沢山泳いでいました。石垣の横の鳥居を抜けると東照宮本殿があり、天井には絵が施されていました。本殿を参拝し家内安全をお願いして、横塀の道を抜けてまっすぐ行くと目的の井戸がありました。この井戸は屋根が付いていて「葵の御紋」まで付いていました。

徳川家康のために家臣がここから産湯の水を汲んで行ったのかと思うとびっくりですねー。もちろん手を合わせパワーを沢山いただきました。この周りには第２、第３の井戸もありました。

その後、東照宮を離れて案内板をみて高月院まで行きました。この日（10月11日［日］）は暑くて、汗だくだくで登り坂を上がっていきました。高月院は1367年に足助次郎重宗の子 重政が、松平郷主 在原 重信の擁護を受け建立したそうで松平家の菩提寺です。

本殿に戻りトイレも兼ね、しばらく休憩しながら周りを見ていると、「コロナ撲滅」の垂れ幕が掛かっていました。御祈願で早く収まると嬉しいですね。

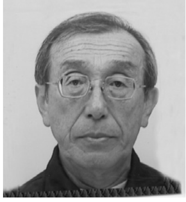
最後にウオーキングの小路があり散策しまし

た。高月院の駐車場から始まり、小さな棚田の法面（のりめん）を歩くコースです。先日の雨でぬかるんだ棚田にはまってしまい、靴が泥だらけになり泣けてきましたが、帰り道は国道301号線からスムーズに帰る事ができました。松平郷（松平東照宮）の散策は1時間位かかりましたが、とてもリフレッシュできました。熱田神宮も強いパワースポットですが松平東照宮も霊感あらたかで、また訪れたいと思っています。

松平東照宮

松平の郷に鎮座する松平東照宮には徳川家康と松平親氏公が祀られています。松平親氏公は将軍徳川家の祖先といわれる人物です。神社のある土地は、もともと松平家の屋敷があった場所で、屋敷内に八幡宮を祀ったことが神社の起源になるそうです。境内には産湯の井戸と呼ばれる井戸があり、松平家はこの井戸を代々産湯に使ったそうです。この井戸水は参拝者にも授与され、不老長寿や安産にご利益があると言われています。

両眼を白内障で手術



鶴舞支部
丸谷 康男

私は70歳を過ぎ、生まれて初めて自分の体にメス（手術）を入れました。この貴重な経験を皆様に伝えたくて、愛整広報に投稿する事にしました。

実は車の免許証が昨年の7月21日（火）で失効するのをうっかり忘れていたため、慌てて平針の運転免許試験場へ日曜日に行きました。5年ぶりに行ったので、試験場も随分変っていましたし、駐車場は工事のため全て使用出来ませんでした。事務手続きを終え、順調に進んでいきましたが、最後の視力検査で不合格となったため、すぐに5年前に視力検査を受けた眼鏡店に行き再検査を受けましたが、矯正レンズを変えてみても視力が戻りません。検眼してくれた店の人と相談したところ眼科受診を勧められたため、近くの眼科にて早速診察を受けた結果、かなり白内障が進んでいるので早急に手術を勧められました。受診した眼科は水谷眼科といって毎週水曜日の午前中手術日となっています。近所の評判も大変良いようです。ここで一つ問題が起きました、眼の手術をしている間に免許証が失効してしまいます。そこで平針試験場に行き事情を話したら、即3か月間延長の印を押してくれました。

最初は右目を7月29日に手術しました。手術1時間前から5分毎に点眼薬を9回受け、手術は眼のみの局所麻酔で、約30分で終わり右目は眼帯をされ、術後は約1時間安静にし、その後歩いて帰宅しました。そして手術翌日、2日目、6日目の3日間は検査のために眼科に通院し、一週間後の8月5日に左目の手術をしました。結局当院を休院したのは7月29日と8月5日の2日間でした。1週間後に眼鏡の処方箋を持って指定の眼鏡店で新しい眼鏡を作ってもらい、新しい眼鏡を掛けて帰りに見た景色は鮮明で驚きと共に感動しました。

視力が回復したので自信を持ち平針の運転免許試験場へ9月15日の昼に出かけて視力検査を受けました。何と両眼で視力が1.0まで回復する事が出来ました。新しい免許証を受け取り、清々しい気分で帰宅しました。

今、世の中は新型コロナウイルスのために大変な時ですが、会員の皆様方どうぞ眼の健康に気を付けて、この厳しい時代を乗り切りましょう。

待合室に掛けた1枚の色紙

大曽根支部
井上 哲三

私は開業して30数年経ちます。開業する際にある知人から色紙を頂きました。その色紙は今も大切に待合室に掛けてあります。その色紙に書かれた言葉はすべてあたりまえの事ばかりですが、その言葉に込められた作者の想いにいつも感謝しています。その言葉を皆様にご紹介させていただきます。

あたりまえのこと
こんなすばらしいことを
なぜみんなは喜ばないのでしょう
あたりまえのことを
お父さん お母さんがいる
手が二本あって 足が二本ある
行きたいところへ自分で行ける
音がきこえて 声が出る
こんな幸せあるでしょうか
しかし誰でもこれを喜ばない
あたりまえだと笑っている
ご飯が食べられる
夜になると眠れる
そして朝がくる
空気が腹一杯すえる
笑える 泣ける 叫ぶことができる
走りまわれる
みんなあたりまえのこと
こんなすばらしいことを
みんなは喜ばない
ありがたさを知っているのは
それをなくした人たちだけ
なぜでしょう
あたりまえ

新型コロナ禍にて、色々な事があたりまえではなくなった昨今、何に感謝しどう乗り越えていきますか？

銀杏

一宮支部広報担当
櫻木 哲也

今年も芳醇な香りとともに銀杏の季節がやってきた。

当院のある一宮市のお隣、稲沢市祖父江町は銀杏の生産量全国一のシェア約30％を占め、毎年11月下旬から12月上旬まで「そぶえイチョウ黄葉まつり」が開催される。昨年は23回目で、珍しい銀杏料理を食することができるため、楽しみにしている方も多いお祭りであったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から全てのイベントが中止となった。鑑賞だけは可能であるため、休日に足を運んでみた。

黄葉まつりメイン会場の「祐専寺」へのアクセスは名鉄尾西線「山崎駅」を利用されると大変便利である。町内には樹齢100年超えの約11,000本のイチョウの木が植えられ、食料飢饉の際に食料として備蓄されていた。そしてイチョウの防火防風性を活かし、火事や伊吹おろしから家屋を守る防風林として神社仏閣や屋敷の周囲などに植えられることが多く「屋敷銀杏」と呼ばれており、黄葉最盛期の時期は町全体が黄金色の絨毯を敷いたようになる。

会場の「祐専寺」は、昭和6年信州善光寺の別院として本堂が新築され、境内には稲沢市の天然記念物に指定されている樹齢300年、高さ20m、胸高囲3mの「祐専寺イチョウ」を見ることが出来る。イチョウは1億5000万年前の中生代に最も栄えたグループで原生種の1種類のみが生き残る生きた化石といわれ、病害虫に強く寿命が長いといわれている。

散策路を歩いていたら、銀杏農園の庭先に銀杏を選別する機械が置いてあり、売り物の銀杏が白く綺麗な状態になるまで周りの実を取り除く作業をしている光景を目にしつつ、独特な香り、洗い流した排水、飛び交う小虫、裏方さん的な作業に頭が下がる思いで通り過ぎた。

おそらく10分も経てば嗅覚も麻痺し違和感はなくなると思う。来年こそは無事に開催され美味しい銀杏料理を楽しみに再訪したいと思う。

我が家の宝物

半田支部
竹内　康

ちょっとした縁でテレビ取材を受けることになった。ある方から、「随分長く乗っているらしいが、あんたの車の取材をしたいがいいか？」、「えっ、私の車は軽のトラックですよ」BS朝日「昭和のクルマといつまでも」の番組で、外車・高級国産車が取り上げられている中で、「何やら、お父さんの形見らしいが、現在も乗り続けている軽トラックも面白い」と、言われるがままに取材を受けることになった。

マツダポーター360は、私の親父が昭和48年に会社通勤用と農作業のために購入したもので、3年間乗った。この車に関しては、親父と共に55年前を振り返らないと語れない。親父は戦時中戦地従軍期間が長くマラリア等を患い、年に2・3回高熱にて寝込むことがあり体が弱かった。そんな親父だったが、私の将来について随分気にかけ心配していたようだ。高校卒業後大学受験について「国公立に入る力があるなら行け。さもなければ、公務員として就職せよ」と。親父は長い人生経験の中で、安定した公務員にさせたかったようだ。地元の公務員試験を受けさせられて面接までに至ったが、大学受験を諦めきれず断って帰った。親父に合わせる顔がなかった。親父は物事をしっかり受け止める性格で、普段は口数が少ないほうであったが「こんな地元でのいいチャンスを捨てて」と、初めて真剣に怒った。

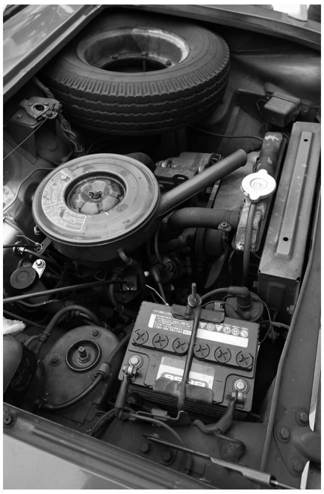
前後して、国公立の受験結果は甘くなかった。親父を説得する言葉もなく「今後のことは自分でやるからいい」と、啖呵を切ってしまった。同じころ高校柔道部師範であった関 清先生からは「将来役に立つかもしれないから、ほねつぎの資格を取っておいてはどうだ」と勧められていた。

年度変わりの4月から、昼は学資確保のために古本屋さんのバイト、夜は中部柔整専門学校夜間部へ通学、その間をみて大学受験勉強に努力したものの、時間はなくお金もなく、柔整学への勉強も甘くなかったため、大学受験浪人としての勉強ができるはずもなかった。古本屋さんと言っても、大学図書館に納入するほどの大手の本屋さんで、皆さんから応援していただいた。50数年前なのに当時の状況が今でも想い浮かぶ。

苦しい生活が続く中、頭を下げなかった私に対して、親父はそうとう心配していたようだった。高度成長からマイカーを購入できる時代となり、正直言って喉から手が出るほど欲しかったが言えなかった。そんな時、親父が車を買ってくれた。嬉しかった。親父も長年心配していたようだが、親子のつながりが取り戻せてほっとしたと、その当時の気持ちを後で聞かされた。

私は米田卒業後、7年半修行し地元での開業を決めていた。その間親父は接骨院の開業場所や資金等々に関して、心配し頭を痛めていたようだったと後で耳にした。そんなころ、昭和48年に58歳の親父がこのマツダポーターを購入した。

昭和51年10月25日開院にこぎつけた。駅も



無ければバス停も無い開院場所に皆から笑われたが、将来を見越しての決断だった。「親父は接骨院から100mほど離れた所にポーターを止めて、患者さんの出入りを心配して見ていた」と死後聞かされ、一時期は意見の食い違いと私の我がままから口も聞かない親子であったが、そこまで思っていてくれたと想うと涙が出た。

親父は開院半年間を見届けるようにして62歳で他界した。開院した時期も良く家族は勿論のこと、皆さんの応援をいただき順調に接骨院を続けられ、お世話になったすべての方々にお礼申し上げなければならなかった。

このマツダポーターは親父の形見である。その後、接骨院も忙しくなって農業もできなくなり、長く乗るつもりはなかったが、20年を経過したころ「いくらでもでもいいから譲ってほしい」と言われ、俄然乗り気になってしまったこともあった、人間の根性ってこんなものか。また、娘が学生時代、駅に迎えに行っても駅前では乗ってくれず、50m離れたあたりから乗ることもあった。「恥ずかしいからやめて～」と、そんなことの数々・・・

孫たちも楽しく付き合ってくれて、古希の祝いには車・カメラをアレンジしたケーキまでも作ってくれた。平成18年ころまではポーター仲間も遊びに来ていたが、もう今では誰も来ない。日常生活の中では、「接骨院が大きな音たてて走っている」と言われ、今から想えば楽しい思い出話。いろいろあったが、親父の気持ちを思い出すと手放せなくなって乗り続けた。皆さんに大変お世話になった接骨院も、平成30年10月末42年間70歳をもって終了し廃業はしたが、愛整には会員として今でもお世話になっている。

ポーターも限界が近づいているように思われるが、もう3年、50年は乗り続けたいと思っている。私も平均寿命の81歳まで生きようとしている。後9年、ポーターも56歳になってしまう。こんな親父と車の関わりについて、10月末2日間の取材を受け、BS朝日「昭和のクルマといつまでも」の番組にて、12月9日(水)夜10時から放映された。何か恥ずかしいが、冥土の土産に願ってもないチャンスだ。皆さんに迷惑をかけないようにもう少し乗り続けま～す。

記紀にある疫病の話

刈谷支部広報担当
岡田 忠士

COVID-19（CORONA VIRS 2019）と呼ばれる新型コロナウイルスによる感染症が令和元年末、中華人民共和国湖北省武漢市で人への感染が確認され、令和2年1月末には春節と言われる旧正月の連休に多くの中国人が世界へ旅行した結果、ウイルスも世界へ広まり欧米を中心に深刻な被害を出し都市封鎖が行われるなど、経済的にも世界が混乱し始め、東京オリンピックも中止となるなど波乱の年となった。年末に差し掛かった今(令和2年11月)も終息宣言は出ていないが、日本では政府により「GO TOトラベル」「GO TOイート」が実施され、自粛により経済的被害が大きかった旅行業や飲食業への人出が戻りつつあり、人の動きが活発になることで、今後の経済活動の復活が期待されるとともに一刻も早い疫病の終息を祈る。

疫病による被害は、日本でも大昔からたびたび発生していて、古事記・日本書紀にも疫病に関する記述がある。

古事記には、「第10代崇神(すじん)天皇の御代(みよ)、おおみたから(人民)が疫病により死に絶えそうになったため、崇神天皇は神牀(かむとこ)という神意を受けるための特別な床で寝ました。すると大物主の神が現れて『意富多多泥古(おおたたねこ)に我が御魂(みたま)を祭らせよ』とおおせになりました。そこで崇神天皇は意富多多泥古を探して、御諸山(みもろやま)に意富美和之大神(おおみわのおおかみ)を拝み祭りました」との記述がある。

日本書紀には、「国内に疫病多く民の死亡するもの、半ば以上に及ぶほどであった。崇神天皇はそれまで宮中で祭っていた天照大神(鏡)と倭大国魂(やまとおおくにたま)の二神を『宮中で祭るのは畏れ多い』と祭る所を探すよう皇女豊鍬入姫命(とよすきいりひめのみこと)に鏡を託し大和の笠縫邑(かさぬいむら)に祀った」とある。またその後を継いだ第11代垂仁(すいにん)天皇の皇女倭比売命(やまとひめのみこと)が天照大神を祭るにふさわしい場所を探して近江、美濃をめぐり伊勢の地にたどり着いたとき、天照大神が「この国に居りたいと思う」と仰せにな

り今の伊勢神宮（内宮）の地に祭ったのが始まりだそうだ。

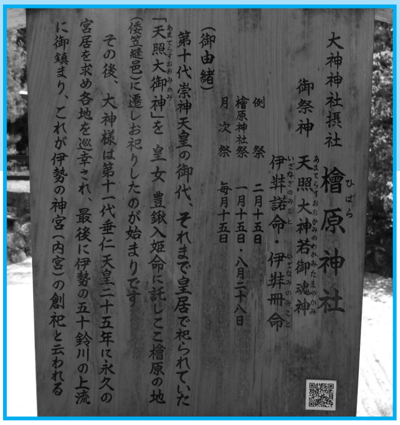
倭大国魂神は、皇女渟名城入姫命（ぬなきいりひめのみこと）に預けて祭らせたが、渟名城入姫命は、髪が抜け落ち痩せて祭ることができなかった。そこで、崇神天皇は神浅茅原（かむあさじがはら）に八十神（やそがみ）を招き占ったところ倭迹迹日百襲姫命（やまとととびももそひめのみこと）に神がかりして「国の治まらないのは、吾が意によるものだ、吾が子大田田根子に吾を祭らせたら、たちどころに平らぐだろう」と仰せになった。

三人の姫が同じ夢をみて、「貴人が夢で教え言われるのに『大田田根子命を、大物主神を祀る祭主とし、市磯長尾市（いちしのながおち）を倭大国魂神（やまとおおくにたまかみ）を祭らせる祭主とすれば、必ず天下は平らぐだろう』と言われた」というので、崇神天皇は歓ばれて、大田田根子を探して大物主を祀らせたとあり。その後さらに八十万（やそよろず）の神を祀った。ここで疫病ははじめて収まり、国内はようやく鎮まった。五穀はよく稔って百姓は賑わったとの記述がある。

意富美和之大神は大神神社として、豊鍬入姫命が天照大神を大和の笠縫邑に祀った場所は、檜原（ひばら）神社として、倭大国魂は大大和神社として今も奈良にある。

名阪国道天理ICから、国道162号線に入り南下すると、大大和神社、崇神天皇陵、景行天皇陵、檜原神社、纏向遺跡や倭迹迹日百襲姫命の墓とされる箸墓古墳、大神神社が道沿いに並んでいる。大大和神社と檜原神社、大神神社は平成26年5月の連休に父母と参拝に行った思い出の地でもある。

檜原神社



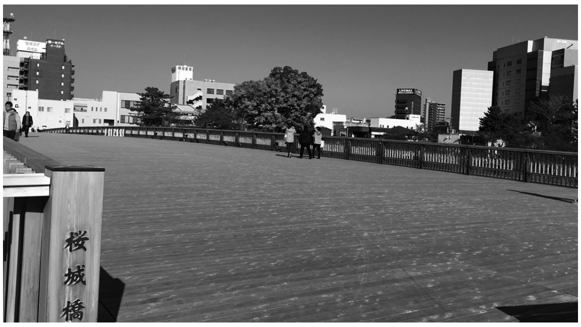
参考文献

「現代語 古事記」竹田 恒泰
「全現代語訳 日本書紀」宇治谷 孟

桜城橋（さくらのしろばし）と徳川四天王・酒井忠次の石像

岡崎支部広報担当
菅沼 秀生

2020年3月22日（日）「桜の名所である岡崎城を『桜の城』と例え、新しい橋から見える」というコンセプトで名付けられた人道橋「桜城橋」が開通しました。今秋、話題の橋となっており、実際に歩いて渡ってきました。



実寸幅19m、長さ121.5m、広さが約2,000m^{2}の橋で、渡り始めてその広さに圧倒されます。また床板や手すりは岡崎市の額田地区産ヒノキで装飾され、木のぬくもりを感じられます。橋の中腹に差し掛かった際には橋である事を忘れ、川にせり出されたヒノキ舞台に立ったようでした。行く前は京都の渡月橋をイメージしていましたが、こちらは乙川上に構えた清水の舞台と言ったところでしょうか。欄干にはローマ字でOKAZAKIの文字が書かれ和の橋にモダンさを感じられます。交通としての機能もさながらイベント等で露店を出店させることも可能で、市民が集まる場としての目的も兼ねそろえています。

岡崎市は、（一財）日本総合研究所が発表している「2020年度48中核市幸福度ランキング」で全国総合2位となりました。総評で「岡崎市は『自殺死亡者』が大きく減少（35位→4位）したほか『選挙投票率（国政選挙）』も2位をキープするなど、人々の幸福感や満足度に関する生活・社会基盤が盤石であることがうかがえる」とあり大変住みよい街になっております。この新しい橋も幸福の街・岡崎市のシンボルのひとつになっていくのにふさわしく思います。

国道1号線側の橋のたもとには、徳川四天王・酒井忠次と本多忠勝の2体の石像（岡崎石工団地内で作成）が設置されていました。寄稿時にはありませんでしたが、発刊時には榊原康政、井伊直正の2体の石像も設置される予定です。四天王は質実剛健の忠勝と猪突猛進の井伊が有名ですが、今回は太鼓を叩く武将の像が珍しく、思わず私の気を引き酒井忠次に注目しました。

1572年、三方ヶ原の戦いで、徳川家康は隣国の武田信玄に大敗し、当時の本拠地・浜松城に逃げ帰った際に、城内が意気消沈する中、一計を案じた家臣の酒井忠次は全ての城門を開いてかがり火を焚き、櫓の上で太鼓を打ち鳴らす奇計で敵方にワナと思わせ難を逃れたという謂（いわ）れのある「酒井の太鼓」のエピソードがあります。実際は味方を救うために行ったとも言われております。このエピソードを基に、酒井忠次が太鼓を打ち鳴らす勇姿を石像で再現したそうです。

酒井の太鼓

ブラジリアン柔術
レアンドロ草野先生との出会い

半田支部
木之本 達明

現在私は59歳、ブラジリアン柔術を習っています。

3年ほど前、少年柔道の指導と高校柔道部の非常勤教師をしていましたが、年々普段の動きがぎこちなくなり、しゃがんだり、立ったり、腰の曲げ伸ばしをしたりに対して老化が進んできたように感じていました。筋トレもしていましたが、もっと体を使うことをしなければどんどん衰える気がしました。

当時、柔道の「固の形」で同支部の大元 美久会員と、愛知県の代表として東海大会を目指していた時期でもあって、もっとうまくなりたいと思っていた矢先、私の接骨院のすぐ近くにブラジリアン柔術の道場ができたのを知りました。

そこは草野道場と言い、ブラジリアン柔術、MMA（総合格闘技）、ファンクショナルトレーニングを指導しています。

以前から柔術に興味がありましたし、今までの柔道の延長でやれればいいかなと安易な考えではありました。インターネットで検索してみると日本人もいることがわかり早速電話してみましたがあいにく留守電でした。しばらくして電話があり「今韓国で試合があり連絡できなかったのでごめんなさい。帰国したら来てください」とのことでした。後日道場を訪ねてみるとほとんどブラジルの人ばかりでした。中学生ぐらいの女の子が流暢な日本語で案内してくれ、初めてブラジル人のレアンドロ草野先生と会いました。日本語、英語ともにペラペラでびっくりしました。

とりあえず体験してみようとなりましたが、パワー、テクニック半端ない強さでした。ただ強いのではなく、とても礼儀正しく紳士でもあり、道場生からも尊敬されていました。

柔術は同じ寝技でも攻撃、防御のバリエーションが豊富で、結構なんでもありの格闘技で

す。柔術のテクニックは私にはとても刺激的で魅力を感じ入門することにしました。

柔術の道着は柔道着とは違い結構、袖や大腿がぴったりしていて裾も短く色も多彩でした。試合では青、黒、白の3色が使えます。道着に刺繍が施され、とても華麗な感じです。

練習時間は月曜から金曜日までアドバンス夜8時から9時半、ベーシック9時半から10時半、トレーニング10時半から11時10分で仕事が終わってから参加できます。日曜日はMMAが昼2時からあり、夜勤の人のために平日午前のコースもありました。

柔道とはルールが違い、一本勝ちは相手の関節、絞技で相手が「参った」した場合のみで、何回投げ技できれいに投げてもテイクダウン2ポイントです。スィープ(下の攻めから相手を返して上になる）2ポイント、パスガード(相手の下からのガードをはずして抑える）3ポイント、マウントを取ると4ポイント、バックを取ると4ポイント、ニーオンザベリー（膝を相手の腹部にのせて抑える)と2ポイント。試合が開始してから終わるまで寝技の体制で戦うことが多く、関節技は肘ばかりでなく、肩、手、膝、足首、顎関節、また裂きなど多彩です。試合の始まりは「コンバッチ」、終わりは「パロウ」

習っているのはブラジル、イギリス、アメリカ、ジャマイカ、ペルー、フィリピン、日本など多国籍で、その日のメンバーによっては日本語、英語、ポルトガル語の3カ国で説明してくれます。

ブラジルの人は陽気で日本人の私にはついていけません。スパーリング中はノリのいいBGMをかけます。東京での試合に同行しましたが行きも帰りもしゃべりっぱなしでした。

練習を通じて友達も多く増え、試合にでることによってまた絆が深まったように感じました。因みに現在の私の成績は2勝2敗で、入門してから2年たった今年の初めには白帯から青帯になりました。黒帯になるためには最低でも10年かかるみたいです。

私は白帯から初めてよかったと思っています。仲間がテクニックを丁寧に教えてくれますし、一緒にスパーリングしようと誘ってくれます。みんな家族のようです。これからも体が動く限り続けていきたいと思います。

レアンドロ草野（38歳）ブラジル出身 戦績

第4回全日本柔術選手権優勝
第7回ヒクソングレーシー国際柔術選手権優勝
韓国国際柔術選手権優勝
フィリピン国際柔術選手権優勝
全ヨーロピアン選手権2位
MMA（総合格闘技）6勝2敗
現在も総合格闘技、黒帯柔術試合で活躍中

支部だより

豊橋

豊橋市介護予防体操教室参入について

金城 光伸

皆様お元気で新年お迎えのことと存じます。豊橋支部、小松接骨院の金城と申します。

昨年、豊橋市の介護予防事業である体操教室業務に我々柔整師として参入することができましたので、参入までの経緯をお話しさせていただきます。

豊橋市も他の自治体同様、患者さまへの受診者照会があり、影響がかなりある状況です。

少しでも我々柔整師の地位が向上すべく信頼を得るには、市の事業に積極的に参加することが必要と考え、市が民間に委託している体操教室業務に着目しました。

既に何年も体操教室業務の実績を重ねている豊川市の藤本 顕久会員、大野 重雄会員、森 康弘会員のご厚意で、豊川体操教室を見学させていただくことになり、賛同してくださった豊橋支部の中島 正勝会員、永井 裕之会員と、豊川市をモデルとして非常に参考になる勉強をさせてもらいました。参加者に感謝され、豊川市の職員からも信頼される豊川の会員の姿をみてぜひ豊橋市でもやってみたいと思いました。

市の事業に愛整会として行動するには責任があるので、先ずは鎌田支部長に相談しました。鎌田支部長のアドバイスにより豊橋市の現状把握をするため担当課である長寿介護課を訪問したことにより目標が明確になりました。

当初、市の事業者として愛整会が登録されておらず、市の事業を受けるなど話にならない状態でした。こちらの本気度を示すために事業者登録することから着手しました。

小村事務長の協力を仰ぎ無事登録完了したのも束の間、またも問題が発生。豊橋市の体操教室業務の参加資格に我々柔整師が入っていないことが判明したのです。藤川副会長に相談をしたところ長瀬介護部長を紹介していただき、我々柔整師が今まで介護予防事業に貢献してきた旨のPR文書を作成してくださり、そのおかげで正式に柔整師が参加資格に認められました。参加資格を得た我々は見事に体操教室業務を落札することができ、現在、齋藤 禎久会員、西村 正道会員、宮阪 智也会員もメンバーに加わって下さり豊橋市体操教室を始めることができました。以上が経緯となります。

現在行っている体操教室で感じたことを次回またお話させていただきたいと思います。

一宮

令和2年度一宮市バレーボール大会救護

岩田　司

今年度、一宮市バレーボール大会の救護班は、新型コロナウイルスの影響で年6回ある大会がほぼ中止となるなか、感染拡大防止の対策が施された2大会が10月10日（土）、11月3日（火・祝）の両日、一宮市総合体育館「いちい信金アリーナA・B」で開催され、第4担当班（浅井・葉栗）の会員2名、のべ4名の会員で担当した。

一宮市の会員は以前より一宮市バレーボール協会と縁があり、今年度は秋季協会バレーボール6人制を10月10日に秋季市民ママさんバレーボール大会9人制を11月3日に朝9時より大会終了まで緊急時に備えている。

11月3日の大会は今年度最後の救護となり、加藤 雄三会員と私が担当した。当日、肌寒く感じる午前8時30分に自宅を出発、9時前に現地入りし、簡易ベッド等救護道具を搬入したのち、コロナ禍で例年の約3分の1の参加となる

７チームにて開催した。

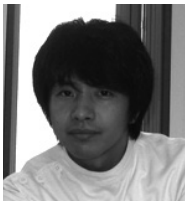
大会縮小の中、やはり試合が進むにつれ選手間にも徐々に熱が入りはじめ、ハッスルプレーにより下腿三頭筋の痙攣をおこした選手やボールによる突き指等の捻挫、転倒による打撲をした選手には応急処置を施した。昨年はアキレス腱の断裂による救急搬送が発生したが今年は幸いにも緊急を要するような怪我はなく、午後2時30分にすべて終了しお互い安堵の表情を浮かべながら帰宅した。

私は2年間で3回の救護を経験したが、選手各位の日頃の練習、鍛錬、水分補給の重要性を再確認し、当院に来院される患者様の指導管理業務にも役立てたいと思う。

来年度は第5班(一宮北)浅野 壽康 新会長のもと担当の会員が順番に、2年間大小12の大会の救護にあたる。会員同士協力し選手たちに怪我がなく大会が無事、進行することを祈っている。

熱田

コロナ禍における支部学術部の活動紹介



支部広報担当
山守 貴英

2020年11月末現在、COVID-19の感染拡大の勢いはとどまる所を知りません。日本国内はもとより、海外では桁違いの感染者数増加が報道されています。

昨今は政府主導の『GO TO ～』と銘打った各キャンペーンによる景気・経済の立て直しが図られていますが、未だにあらゆる行事が中止・延期となっており、それぞれの支部活動に関しましても大変苦慮されていることと存じます。

我が熱田支部においても総会・研修会・意見交換会等の開催が見送られる中、学術部では活動の進め方について検討し、現在はzoomを利用したオンライン形式にて毎月一回の学術会議を開催しております。今回はその学術部の活動についてご紹介したいと思います。

熱田支部学術部でのWeb会議の歴史は古く2012年2月にまで遡ります。当時のSkypeは多人数での利用は有料であったため、主に個別の打ち合わせに用いていました。その後は更なる利便性を追求し、同年3月には無料で9人まで招待可能なGoogleビデオハングアウトを、2013年は1年間ほど支部活動費にて有料のSkypeプレミアムにも加入。その間、ノイズの問題や参加者PCのスペック、通信環境の問題など多くの課題が露呈されましたが、都度情報を集め試行錯誤した対応が現在のWeb会議運営に活かされています。

そして2020年のCOVID-19の世界的流行以降は各業界でWeb会議導入の流れが本格化します。当初はSkypeよりもセキュリティについての脆弱性を指摘されていたzoomでしたが、何度かの修正で解消されつつあるとの報道などから、6月に小林熱田支部長より通話時間の制限がなく、Skypeより安定した運用ができることを理由にzoom有料版の導入が提案され、支部役員の賛成多数でzoomプロプラン加入を決めました。現在の学術部では部員は勿論のこと、整形外科などの勤務柔道整復師にもご自宅や勤務先での当直業務の合間を縫って学術会議にご参加・ご協力いただきながら有効利用しています。

中止となった本年度の支部学術研修会については、昨年4月の会議にて山岸支部学術担当より論文配信による通信学術研修会を代替とする案が提唱され、7月中に支部会員へ2題配布することが決定されました。1題目は林 厚宏会員より「肩関節における上腕骨頭の肢位による終末可動域の一考察」と題し、肩関節可動域を適正に評価する事を目的にプッシュプルゲージとエコー観察装置、デジタルビデオカメラを用いて上腕骨頭の移動座標をグラフ化し統計的仮説検定を行った結果を報告しました。2題目は山岸裕幸会員より「柔整現場でのバランス Wii ボー

ドの活用紹介－バランス訓練とその評価を基に座位で腰痛体操提案－」と題し、任天堂(株)のWiiボードを用いたバランス評価を先行研究と対比し、さらに高齢者でも安全に行える坐位での腰痛体操(腹筋訓練)を考案する目的でWiiボードと表面筋電計を用いた実験を行い、その運動方法を提案しました。

コロナ禍といえども学術研鑽の歩みを止めることなく日々の業務に精を出し、当たり前のように膝を突き合わせて議論し、当たり前のように酒を酌み交わし語り合える日が来ることを切に願う今日この頃であります。

中村

令和二年度中村支部学術部資料研修会

山北 陽一

例年、秋に開催される中村支部学術研修会ですが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため会場における開催はできませんでした。

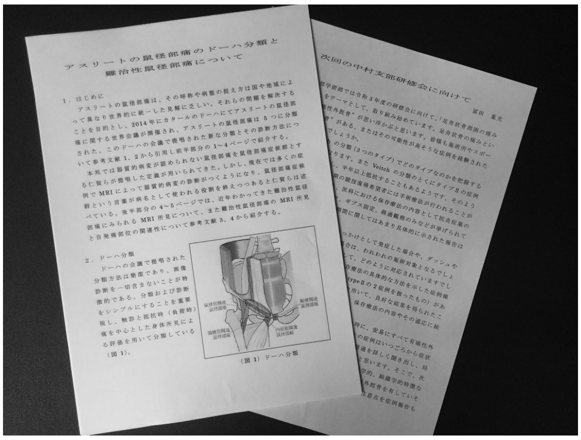
支部学術部では研修会のかわりに何かできないかと考え、資料を作成して「資料研修会」という形で支部会員に資料をメール配信しました。

資料研修会の題目は「アスリートの鼠径部痛のドーハ分類と難治性鼠径部痛について」と「次回の学術部研修会に向けて」の二題です。

資料作成についても通常は平日の夜に学術部員が集まり、研修会に向けて準備をしていくのですが、今年度は対面を避けるためにZoomを用いてオンライン学術部会を開催し、資料作成に取り組みました。私自身はオンライン会議を行うことが初めてであり、どのぐらい使えるものか疑問もありましたが、実際に使用してみると思っていたよりも便利で、事前に資料や議題を用意することでストレスが少なく利用できることがわかりました。また緊急事態宣言が出ていたコロナ禍で、人と会うことが制限され少なからず不安があるなか、オンライン上ではありますが久しぶりに学術部員の顔を見ることができたことに嬉しさを感じました。

今年度はこのようなコロナ禍でなければ使うことがなかったZoomによるオンライン会議を行い、実際に集まらなくても会議ができることなど得るものもありました。しかし同時に実際に顔を合わせて意見を言いあったり、また世間話をしたりすることの大切さにも気づくことができました。

この原稿を作成している今、新型コロナウイルスの第三波に差しかかっていてなかなかよい見通しが立ちませんが、一刻も早く治療薬の開発が進み安心して生活が送れるように



なることを願いつつ、来年度はより一層活気のある学術部研修会を開催できることを希望します。

笠寺

笠寺支部Web役員会議

支部広報担当
山口 敬史

10月19日(月)、私は倉橋支部長へ「愛整広報誌への投稿について現在支部の活動がない状態であることに加え個人的活動、地域の行事も中止となり原稿に困っている」と伝え、その上で支部役員会Web会議の投稿を提案した。

倉橋支部長からも現在愛整会の支部長会議をリモートで行っておりZOOM会議経験者でホスト役も経験済みとのことで練習を兼ねて早期にWeb役員会議を開催するよう返事をいただいた。

10月26日(月) 13時30分から倉橋支部長がホスト役となり各支部担当者参加のWeb会議を行った。予定が合わず7人の参加となってしまったが、最初にZOOMに詳しい竹上会員から会議中の注意事項、多人数で行う際便利なチャットの説明、プライベートな場所で行う際の背景の変更、退室の仕方について説明があった。その後倉橋支部長からコロナウイルスに感染した患者様の来院が発覚した接骨院の先生をお招きし、実際の体験談をお聞きしましょうとの提案があり全員一致で決定した。また会場については、コロナ対策が徹底されている会場の選択と会員各自の対策をお願いし初めてのZOOM会議は終了した。

今までの役員会は、倉橋支部長の施術所にて平日の夜9時30分から2時間程会議を行い、終わって家に着くころには日付が変わっていることもありとても大変でした。今後Web会議が可能であればとても嬉しいがZOOM使用時間の制限や多人数での会議ではどうなるのか課題もありそうだ。

支部研修会

保健センター(旧称:保健所)から電話がかかってきた!「接骨院の患者さんからPCR検査陽性の方が出ました・・・」この後どうなる?

平岩 丈彦

令和2年11月8日(日)、通常は笠寺支部の研修会・情報交換会として毎年恒例で行われる本会はコロナ禍の影響で例年通りの開催とはいかず、役員のみでの開催となり、研修内容を役員で更に検討し、文章にして支部会員全員に配布する形での開催となった。

倉橋支部長の挨拶、各部会の活動報告などが行われ、今回の研修「各施術所におけるコロナ対応」という事で、それぞれの会員の持つコロナウイルスに関する情報交換、そして実際コロナウイルス感染者との濃厚接触者となった先生よりお話をうかがった。

ある日突然「通院されている患者様がコロナに罹患されました」との保健センターからの電話に始まる。その患者様の来院日が知らされるだけで、名前などはもちろん詳細な来院時間も知らされないそうだ。院での通常の対応(消毒など衛生管理等)について聴取を受け、結果患者様に直接触れた素手での手技が濃厚接触と判断されたそうだ。先生はPCR検査にて陽性者ではなかったため通常の生活はできるものの感染拡大の懸念から施術所を二週間休院した。もし施術の際ゴム手袋を使用して患者様ごとに新品に交換していれば濃厚接触者とはならなかった

そうだ。また、一切のやり取りは電話のみで行われ担当者の訪問は無かったそうだ。

休院中収入面はもちろん、患者様への対応、家族の心配等肉体的、精神的にもきつかったとのこと。施術再開後、冷静に今回の対応について保健センターにあらためて尋ねたところ、休院は絶対では無かったようで、またその要請も公的には出来ないとの回答であったそうだ。

なかなか限られた文字数で全てをお伝えするのは難しいのだが、第3波の到来と言われこの冬をどう乗り切るかが話題となる中、我々自身が感染をしてしまう可能性、また感染した方との接触もあり得るため、最善の努力(消毒、マスク着用、密の回避、日々更新される最新情報、正しい知識の収集等々)を怠らぬよう業務に当たらなければと再確認した研修であった。

半田

支部新型コロナウイルス感染予防対策セミナー・情報交換会

鈴木 裕也

令和2年12月20日(日)、午前10時より半田市の青山記念武道館大道場にて、「新型コロナウイルス感染予防対策セミナー」、「業界の最新情報について」、「半田支部情報交換会」が開催された。

コロナウイルス感染予防対策として、事前に新型コロナウイルス接触アプリ(COCOA)のインストールを会員に促し、参加者はもちろんマスク着用、受付係はマスク、フェイスシールドの着用、検温、手指消毒、会場の大道場では換気と、柔道場には18名、観客席には35名と十分なソーシャルディスタンスと感染予防対策を万全にして行われた。会場には54名の半田支部の会員が集まり、会場に来られない会員はZoomでの参加とし総勢63名で行われた。

新型コロナウイルス感染予防対策セミナーは支部学術担当の山田 直樹会員による「新型コロナウイルス感染症に対し我々が行うべきこと」として、"世界のコロナの状況や各国々での対策や問題点"、"過去のパンデミックについて""1918年流行のスペイン風邪"、"2009年新型インフルエンザから解く共通点について"をご講義いただき、私たちが患者さんのために安心して通院できる環境づくりが今後の課題となった。

続いて本会 森川 伸治会長からは業界の最新情報として、幾度となく言われている最近の返戻問題、健保からの不支給問題の注意点、そして柔整審査会の権限強化によって面接確認委員会が全国47都道府県に各々設置されたことによ

り、カルテの整備及び正当、正確な請求が求められるとし、その後今後の学生の国家試験の難しさを説明され、最後に「こんな時代だから一丸となって辛抱強く乗りきろう」と熱いエールをいただいた。

情報交換会では剣道場に知多地区選出の衆議院議員、県議会議員、5市5町の市長、町長ら18名をお招きし、感染症対策を行った上で、飲食を伴わない形で行われた。来賓の方々より温かいお言葉と、コロナ禍の中での奮闘に激励のお言葉もいただき、とても勇気づけられた。また、我々柔道整復師が支部内において、世の中において、国民の健康を維持していく上で重要な役割の一端を担っていることを再確認した。

我々が柔道整復師としてこのコロナ禍でのピンチをどうやってチャンスとして受け止め、時代の変化にどのように対応していくかが今後の大きな課題となった。

共済会だより

新年あいさつ

愛知県接骨師会共済会副会長
内田 光昭

謹んで新年のご祝辞を申し上げ、あわせて愛知県接骨師会共済会会員皆々様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年はコロナウイルスの感染による、小中高校の一斉休校に始まり緊急事態宣言、そして年末の第三波の襲来で医療機関の対応力が逼迫と危険な状態が続いて、感染が急激に再拡大した。

新型コロナウイルス初め重症急性呼吸器症候群(SARS)等は動物由来の感染症で、未知のウイルスはなお数十万種存在するとされ、人と自然界の接触がパンデミック(世界的大流行)を新たに起こす恐れがあると指摘されている。コロナ禍も自然災害に等しい。

災害対策は、どんな状況であってもお互いを理解し、助け合う精神を持ち続けたいもの、誰もが生き生きと暮らせるために、再分配機能としての給付金(福利厚生費)を会員に支給した。

ここで何としてもコロナウイルス感染症の拡大を抑えたい。注意を要するのはクラスター（感染者集団)の多発である。高齢者施設や医療機関での発生、密閉・密集・密接の三密の回避が重要で、効果の有るどんな対策を取るかは個々人で再確認したい。

今、多くの人がマスクをしています。相手に感染を広げないため。お互いに気遣えばお互いが守ることになる。しっかりとした支え合いの存在を感じます。支え合いは「絆の精神」の大切さを、生きる上での困難に直面した時、人と人とが支え合う社会の仕組みです。また共済会の歩みでもある。

今後とも共済会の運営に対しまして、会員皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

介護ステーションだより

管理者

平岩 治郎

日ごろは愛柔整介護ステーションに対しご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

高齢者が怪我や病気などで入院をしたことをきっかけに介護が必要となるケースは少なくありません。退院後の暮らしをどうしていくのかという点で、退院後に在宅で家族が介護するのか、それとも施設に入所するのか悩まれることが多くあります。施設に入所をする場合にも、どんな選択肢があるのかなどで頭を悩ませています。また、在宅復帰をする場合には在宅への受け入れる環境を整える必要もあります。一例として、玄関などの扉を開き戸から引き戸へ変更することや、洋式便器への便器の取替えなどの住宅改修工事があります。退院が決定し、あらかじめこれらの住宅改修工事を行うことで、在宅復帰後の生活がスムーズに行えるようにします。

住宅改修工事は事前に市町村に確認したうえで住宅改修を行い、住宅改修費の支給を退院後に申請します(ただし、退院が出来なかった場合は申請できません)。現住居につき20万円までとなり、"20万円の給付上限額までは何度でも良い"ことになりますし、「介護の必要の程度」の段階が"3段階以上"上がった場合に、再度20万円まで申請できます。

このような介護に関するご相談などがありましたら何なりとお申し付けください。今後も先生方からのご紹介を頂戴し、お役に立たせていただきたいと思っております。

何卒ご協力の程、お願いいたします。

協同組合

協同組合総務部長

櫻木 哲也

日頃は愛知県柔道整復師協同組合の活動に多大なるご協力を賜り、誠に有難うございます。

四半世紀、第25期を迎えます今期は、新型コロナウィルスの影響で令和2年5月29日(金)愛整会講堂にて第24回通常総代会を総代会出席者及び関係者の健康、安全を第一に最小限の出席者によります書面評決にて開催して以降、全ての行事

が中止されました。楽しみにしていた会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしましたが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

本組合は平成7年12月20日(水)の愛知県柔道整復師会常任理事会で協同組合設立準備委員会の発足を協議したことに始まりました。

その設立趣意書では「設立の目的」として「近年、医療技術の急速な発展に伴い、国民や地域社会における医療に対する要求は多様で、かつ、より高度で良質な医療を求められてきています。その医療の一翼を担う柔道整復業取り巻く環境は、同業者及び類似業者との競争激化に伴う患者様の減少の一方で、人件費や設備、衛生材料の諸経費は増加しており、個々の経営は非常に厳しくなってきています。そこで、これらの状況に対応するため、事業協同組合を設立し相互扶助の精神に基づき、購買等の共同事業を実施することにより、組合員の経営の近代化と経営的基盤の確立を図るべく、ここに愛知県柔道整復師協同組合の設立を発起した」と述べており、翌平成8年1月10日(水)の理事会にて承認され組合設立に向け準備が進められました。同年5月16日(木)に開催されました定時総会の席上で会員からの承認を受け、ここに「愛知県柔道整復師協同組合」が設立されました。

以上、先人のご尽力によりまして活動してまいりました協同組合ですが、事務員の不在により、不手際がありご迷惑をおかけいたしております。現在、社団事務局のご協力を得まして徐々にではありますが改善しつつあると思います。また、何かご要望等ございましたら、各地区の総代会役員にご用命ください。

今後ともご協力、ご支援よろしくお願いいたします。

編集後記

コロナ禍の中愛整広報第79刊を無事発刊できましたこと、ひとえに会員の皆様のお蔭と感謝申し上げます。今後とも、ご支援ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

年も改まりひと月ほど経ちました。まだまだ新型コロナウイル感染症に対し油断できないところです。

本会の行事は、昨年ほとんどが中止になるか規模を縮小して開催されました。本年は、コロナウイルス感染症の状況次第ですが、例年どおり行事ができればと願う次第です。各支部広報担当の会員の皆様には、御手数をおかけしますが各支部において事業が再開された暁には原稿・写真の提出をお願いいたします。

古賀　一

令和2年は、コロナウイルスのパンデミックによる影響で、経済の停滞、東京オリンピックの中止など世界が混乱し、我々も患者さんの減少や様々な行事が中止となるなど異常な出来事が続き、愛整広報も記事が減りページ数を減らすことになりました。

9月には、安倍総理の突然の辞任、菅総理の誕生と政界にも驚かされることが続きましたし、アメリカでは大統領選挙で混乱が起きるなど、全世界が荒れに荒れましたが、令和3年は穏やかな良い年となることを祈るばかりです。

第78刊の編集後記で触れました古事記・日本書紀に記載のある疫病の話を投稿させていただきました、お読みいただけると幸いです。

岡田 忠士

前回の愛整広報第78刊にも記載したが、コロナは依然治らず第三波の到来となってしまっている。そんな中、今回第79刊を発刊できることは皆様に感謝の念しかない。

去年の行事はことごとく中止となっているが、今年からは、ぼちぼちと開催が計画されているので会員の皆様に情報をお届けできるよう頑張りたい。

PCR検査の数が増えたことにより、余計に感染者の数も多くなったと感じる。

夏以降から徐々に患者さんも戻って来てはいるが、今まで以上に感染予防に気を配る覚悟である。愛知県だけでなく、補助金が配布されることとなった市町村が出てきているので、有効活用させていただいて感染対策を徹底していきたい。

室谷　勉

第80刊の原稿募集

1. 内　容　論説、時評、文化、学術、短歌、俳句、ふれあい、支部だより等
　　　　　また、記事に関連する写真がありましたら添付してください。
　　　　　支部名・お名前を必ずお書きください。
　　　　　ご本人の顔写真は必ず添付してください。
2. 締切日　2021年5月20日（木）
3. 送り先　〒460-0022 名古屋市中区金山5丁目13番22号
　　　　　公益社団法人 愛知県柔道整復師会 広報部
　　　　　愛整広報メールアドレス： kouhou@shadan-aisei.jp

投稿についてのお願い

1. 寄稿文の採否、および多少の字句の訂正は広報部におまかせください。
2. 引用文献は、必ず著者名、著書名、巻、頁、発行所を明らかにしてください。
3. 原稿は横書きに統一します。
4. 文章の題名、支部名、氏名は、4行使い、本文は5行目から書き始めてください。
5. 句点「。」読点「、」かっこ「（［ は、必ず全角文字を使ってください。
6. 書き始め、段落の始めは1字あけて書いてください。
7. 原稿は読み返して、推敲してください。
8. 医学用語は正しく書いてください。
9. **原稿・写真は、支部担当者へ提出してください。支部担当者が、必ず校正して提出してください。**
   原則提出していただいた原稿・写真は返却しませんのでコピーを提出してください。
10. 原稿（データ）は、原則として、Windows版Microsoft WORDまたはEXCELで作成してください。原稿執筆者の顔写真を必ず提出してください。
11. 1枚の画像の容量は300KB程度とします。
    文書内に貼付けた画像は、元の画像ファイルも添付してください。
    ただし、表紙に使用する写真は2MB以上で、できるだけプリントしたもの（2L版以上）を添えて提出してください。
12. 投稿した原稿・写真等は、締切日より1ヵ月程度はご自身でも保管しておいてください。

発行日	令和3年1月31日
発行者	森川 伸治
編集者	古賀 一・岡田 忠士・室谷 勉
印刷所	名古屋市昭和区広見町5－55－1　牧印刷
	TEL 090－9908－3080・FAX 052－852－5750